

「受診者中心の医療と満足度向上を目指して」



院長 根本 哲宏先生

医療法人バディ 鎌倉脳神経MRIクリニック 鎌倉市認知症疾患医療センター

■根本哲宏先生の略歴/資格

杏林大学医学部卒業
横浜新都市脳神経外科病院 脳神経外科医長

日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本脳神経血管内科学会専門医
身体障害者認定指定医（肢体不自由）
日本脳卒中の外科学会技術認定医

:DeNA HEALTHCARE

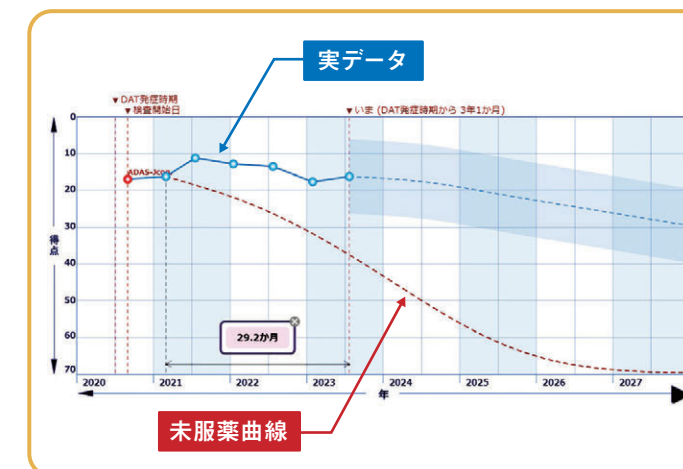
— 導入の背景

受診者中心の医療と検査負担の軽減

超高齢社会の中で、認知症の早期発見や経過観察の重要性はますます高まっています。当法人では、神経心理検査を実施する際、限られた診療時間の中で受診者やご家族との十分な対話を確保しつつ、検査結果を正確に記録・評価することに課題を感じていました。

特に「ADAS-Jcog.」は、認知機能の推移や治療効果を評価するうえで欠かせない検査である一方、検査項目が多く実施時間も長いため、受診者の身体的・精神的負担や、医療従事者の業務負担が大きくなるという側面があります。

この課題を解決し、検査効率の向上と負担軽減、さらに検査結果をわかりやすく共有することで受診者・ご家族の理解と納得感を高めるため、当法人ではADAS-Jcog.実施支援システム「SHINRI-ADAS」を導入しました。



■施設概要

施設名称：医療法人バディ
鎌倉脳神経MRIクリニック
鎌倉市認知症疾患医療センター
院長：根本 哲宏
標榜科：脳神経外科・脳神経内科
所在地：神奈川県鎌倉市御成町1-12
開設日：2023年



発行

NIPPON
tect 日本テクトシステムズ株式会社
SYSTEMS nippontectsystems co.,ltd

〒150-6140
東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア
E-mail:nt_info@nippontect.co.jp

— SHINRI-ADASの活用と具体的な効果

当法人では、「ながつた脳神経外科」と「鎌倉脳神経MRIクリニック」でSHINRI-ADASを運用しています。受診者数や構成に応じた運用方法を工夫し、それぞれのニーズに合わせたケアを提供しています。

診断・治療方針の決定支援

ADASの結果は、他の検査と組み合わせて総合的に評価します。抗認知症薬を服用中の方は定期的に状態をモニタリングし、治療効果の確認に活用。服薬していない方でも、経過グラフ上で大きな変化が見られた場合、治療提案の根拠として提示することが可能となりました。

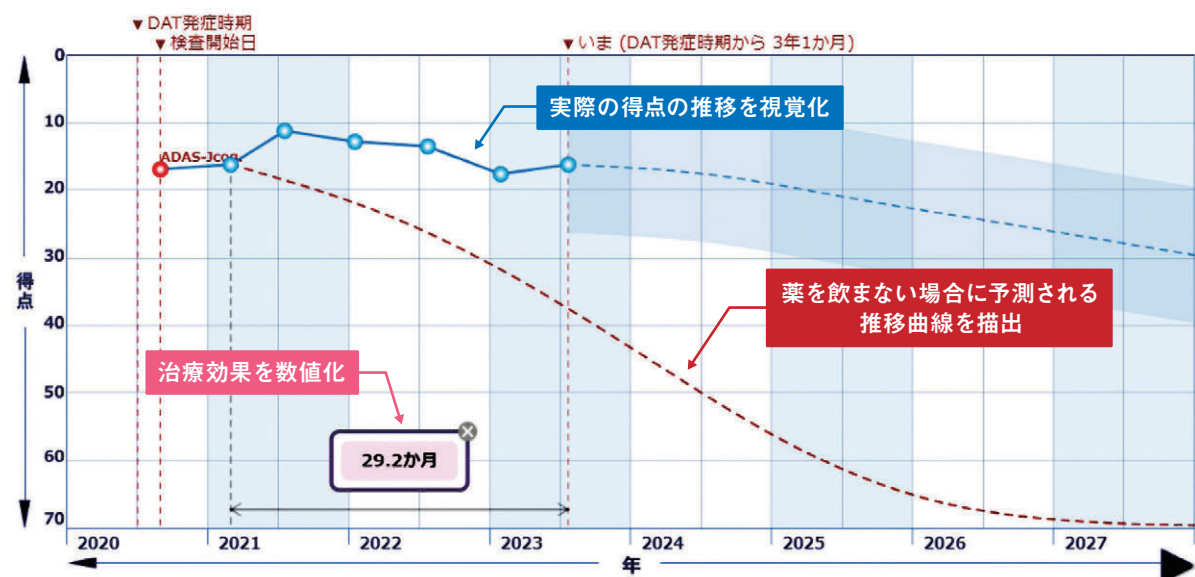
服薬継続へのモチベーション向上

検査結果をレポート化し、受診者やご家族と共有しながらケア面接を行っています。SHINRI-ADASが生成する経過グラフでは、認知機能の推移が視覚的にわかりやすく示され、「薬を飲まない場合の予測曲線」と比較できます。これにより、服薬継続の必要性を納得していただきやすくなり、治療へのモチベーション維持に寄与しています【図1】。

【図1】

SHINRI-ADASの「治療経過グラフ」

システム上で結果表示したい受診者を選び経過グラフ表示モードを選択



医療従事者の業務効率化

ADAS-Jcogは、検査項目が多く、実施・集計に時間を要します。SHINRI-ADASの導入後は、検査前後のデータ処理や結果出力にかかる時間が短縮され、より迅速な検査遂行が可能になりました。生まれた時間を、受診者やご家族とのコミュニケーションに充てられています。

検査負荷に関する新たな気づき

ADAS-Jcogは、所要時間から、「負担が大きい」と敬遠される傾向がありますが、70.0点という評価枠の中で軽度から重度の方まで実施できるよう構成されているだけあり、被検者から「もうやめたい」「できなかった」といった声はほとんど聞かれません。認知機能検査には、短時間でできるものもあり、私達検査者側は、所要時間で負荷量を判断しがちですが、受ける側の負担感、質問内容や構成にも大きく左右されることに気づきました。多くの方が、想定以上に前向きに取り組んでくださるからこそ、継続して評価を行いやすいと感じています。

— 受診者・ご家族の声

SHINRI-ADASは、検査結果を分かりやすい形で提供するだけでなく、現状を正しく理解し治療への安心感を得るための重要なツールとなっています【図2】。当院では、検査結果をまず担当の検査者から直接説明し、その場で疑問点などを解消しています。その後、医師から総合的な説明を行うことで、受診者のより深い理解と納得感を得ることができ、これが受診者の満足度向上にもつながっています。

— まとめと今後の展望

SHINRI-ADASは、単なる検査実施支援システムに留まらず、受診者・ご家族と医療者の間に共通理解を生み出すコミュニケーションツールとして機能しています。また、当法人では、業務効率化と医療サービスの質向上の両立を実現しました。今後はこの経験を活かし、より多くの受診者のケアに役立てていきたいと考えています。

【図2】

当院での流れと受診者・ご家族の声

1 言語聴覚士による検査実施

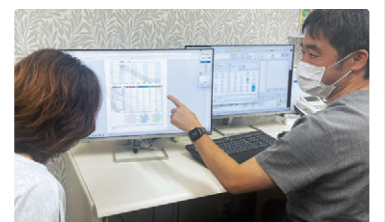


2 結果のプライベートフィードバック

検査直後の記憶が鮮明なうちに、検査者が結果をご説明します。医師には聞きにくいこともお気軽にご相談いただけます。



3 医師によるフィードバック



Voice

当院にてSHINRI-ADASを施行した70代から80代の男女9名を対象に、アンケート調査を行いました。検査の進行や結果説明の分かりやすさを問う項目では、**全ての方が「分かりやすい」と回答し、その多くが「とても分かりやすかった」と高く評価しました。**特に、結果をグラフで視覚的に示す手法は、被検者様の深い理解を促す上で効果的であったと考えられます。また、治療効果に関する説明がもたらす安心感についても、**ほとんどの方が「安心できた」と回答。**他の認知機能検査と比較した満足度も非常に高いという結果となりました。ADASには、医療従事者側が被検者様の負担を想定しがちな側面がありますが、本アンケートからは、コミュニケーションと丁寧な説明を通じて、**負担感よりもむしろ高い満足感と安心感をご提供できる可能性**が示唆されました。